

新専門医制度への 一斉移行のお知らせ

更新時期に関わらず、
2022年10月1日に
眼科専門医制度から新専門医制度に
移行します！

詳しくは「日本眼科学会雑誌126巻1号」
または「日本の眼科93巻1号」をご覧ください。



公益財団法人 日本眼科学会
Japanese Ophthalmological Society



公益社団法人
日本眼科医会
JAPAN OPHTHALMOLOGISTS ASSOCIATION

新専門医制度 Q&A

新専門医制度に対する疑問を、Q&Aでまとめました。

Q1 眼科が新専門医制度に乗り換えるって本当ですか？

A: はい。2022年10月から、眼科専門医は全員一斉に移行します。その5年後に認定を受けて、新専門医になります。

Q2 新専門医制度で、何が変わるの？

A: 日本専門医機構が定めた規則に従って、新専門医を認定したり更新したりします。従来の方式とあまり変わりませんが、いくつか細かな変更点があります。

Q3 具体的には？

A: これまでは5年間で100単位を集めて眼科専門医を更新していましたが、新専門医制度では5年間で50単位になります。

Q4 学会の出席も半分でいいってこと？

A: いいえ。これまでは1時間で1単位でしたが、新専門医制度では1時間で0.5単位ですので、これまでとほぼ同じです。

Q5 その他、新専門医制度のポイントは？

A: 細かな規則はまだ検討中ですが、以下がポイントです。

- 5年間で50症例の診療内容記載が必要。
- 全ての科の先生が受講する共通講習の受講が必要。
- 眼科の学会や講習会の受講、その他の活動の単位も。
- Web形式の講習会はこれからも続ける予定。

※ 今後、規則や変更が決定しましたら、順次お知らせします。

Q6 2022年から5年間の移行期間も専門医と名乗れるの？

A: はい。2022年からの移行期間は、現行の「眼科専門医」として名乗れます。また2027年に認定されれば「日本専門医機構の新専門医」を名乗ることができます。

Q7 2022年9月30日までに、何をしておけばいい？

A: 2022年9月30日までに現在の眼科専門医の単位を必要な分だけ取得していただきます。

Q8 自分が2022年9月30日までに何単位取得すれば良いかわかりません

A: ご自身の専門医カードに記載してある有効期限によって異なります。4ページの表をご覧ください。



Q9 2022年9月30日までにこの単位数を取得できなかったら新専門医制度に移行できませんか？

A: いいえ、移行できます。9月末の時点で不足していた単位分は、10月から始まる新専門医制度の単位数をその後5年間で余分に取得していただくことで、更新を認めます。

Q10 今自分が何単位取得しているか、知りたいです

A: 「日本眼科学会雑誌126巻1号」または「日本の眼科93巻1号」に詳しい方法が書いてありますので、ご覧ください。



新専門医制度への移行に伴い2022年9月30日までに 取得すべき眼科専門医の単位数

取得すべき単位数は、眼科専門医カードに記載してある有効期限によって異なります。ご自身の眼科専門医カードをご覧ください。有効期限を確認してください。

専門医カードに記載して ある有効期限	2022年9月30日までに 取得すべき単位
2022年9月30日	100
2023年3月31日	90
2023年9月30日	80
2024年3月31日	70
2024年9月30日	60
2025年3月31日	50
2025年9月30日	40
2026年3月31日	30
2026年9月30日	20
2027年3月31日	10

※ 2022年9月30日の時点で上記の必要単位数を取得できなかった場合でも、新専門医に移行できないということではありません。不足の単位分は、2022年10月から始まる新専門医制度の単位数をその後5年間で余分に取得して補っていただくことで、2027年に認定します。

上記の単位数を超えて取得しても、それを新専門医制度の単位に使用することはできません。